

### 地形・地質

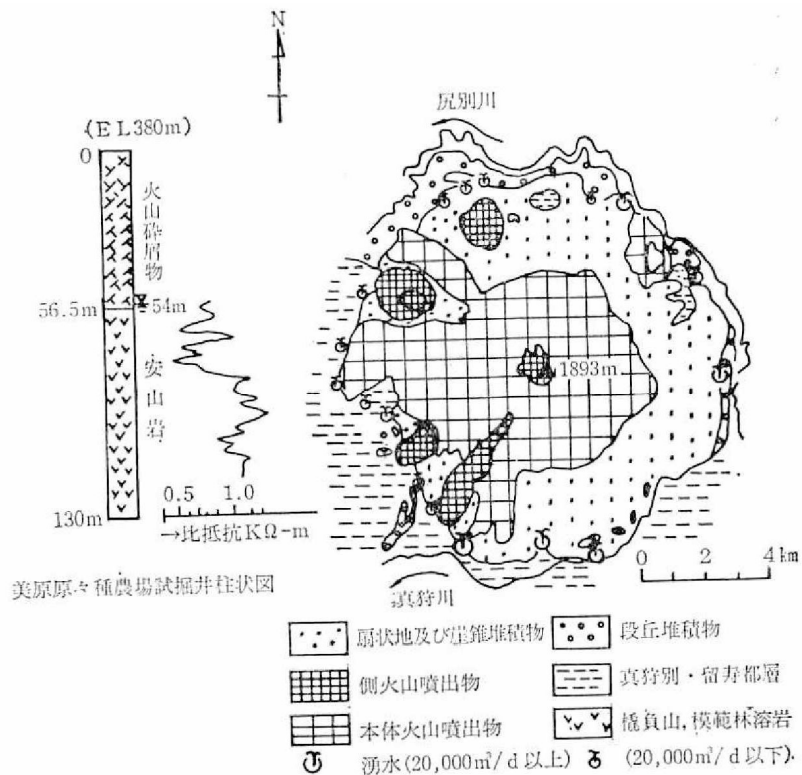
羊蹄山は（標高 1893m）渡島半島のつけ根に位置し、半径約 6km の範囲に裾野を広げる円錐形のコニーテ型の火山です。羊蹄山の裾野は、留寿都高原と呼ばれる標高 200~300m の平坦な波状地が洞爺湖方面に広がっています。地質は、本体および側火山噴出物の輝石安山岩の溶岩流と、同質の碎屑物の互層よりなります。

羊蹄山麓の地質層序表

時代	地層名	岩質
第 新 世	現河床堆積物 扇状地および崖錐堆積物	砂, 礫, 粘土 火山灰, 火山岩塊
	羊蹄火山 側火山噴出物	輝石安山岩, その他
	羊蹄火山 本体火山噴出物	同上
四 更 新 世	低位段丘堆積物	砂, 礫, 粘土, 砂
	真狩別層	火山灰土, 火山砂 火山灰, スコリアなど
	中~高位段丘堆積物	砂, 礫, 火山灰, 粘土
	留寿都層	火山灰, 軽石, 火山砂
	樺負山熔岩 模範林熔岩?	輝石安山岩など

## 地下水

羊蹄山麓は、地下水を得るのに困難な地帯ですが、山裾には多くの湧泉に恵まれ、この湧泉が住民の生活に欠かせない水源となっています。



出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）